

- 問1 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。
 2. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。
 3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。
 4. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。
- 問2 日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。 (2016年 愛媛公立入試 類似)
1. 北海道
 2. 東北地方
 3. 九州地方
 4. 近畿地方
- 問3 2012年から2016年にかけての、北海道における外国人宿泊者数の推移と傾向について述べた文として、統計的事実に基づいた正しいものはどれですか。 (2018年 山形公立入試 類似)
1. 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。
 2. 外国人宿泊者数は通年で増加傾向にあるが、2016年時点の統計においても、依然として夏季の宿泊者数が冬季を大きく上回っている。
 3. 2012年から2016年にかけて、夏季の外国人宿泊者数は順調に増加しているが、冬季については横ばい、または微減の傾向にある。
 4. 北海道を訪れる外国人宿泊者数は、2012年と比較して2016年には夏季・冬季ともに減少し、日本人観光客中心の構成へと変化した。
- 問4 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 知床
 2. 白神山地
 3. 屋久島
 4. 小笠原諸島
- 問5 日本最大の面積を持ち、約5.1万ヘクタールに及ぶ大規模な水稲の作付面積を誇るなど、広大な土地を活かした農業が盛んな地域はどこか、次の中から選びなさい。 (2022年 愛知公立入試 類似)
1. 北海道
 2. 岩手県
 3. 沖縄県
 4. 神奈川県
- 問6 日本を七つの地方に区分した統計において、北海道地方の耕地面積は約115万ヘクタールと他の地方を大きく上回っており、農家一戸あたりの耕地面積が非常に広いという特徴があります。このような土地条件を背景に発展した、北海道の農業の形態として最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知公立入試 類似)
1. 大型機械を活用した大規模な経営
 2. 大都市の近郊で行われる施設園芸農業
 3. 狭い土地に多くの労働力を投入する集約的な農業
 4. 平地が少ないため斜面を利用して行われる段々畑での農業
- 問7 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形公立入試 類似)
1. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。
 2. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。
 3. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。
 4. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。
- 問8 北海道の農業経営に関する統計を分析すると、経営耕地面積が30ha以上の大規模な農家が6割以上を占める一方で、都府県では1.0ha未満の農家が半数以上を占めるという対照的な構造が見られます。また、北海道では農業を主な仕事とする「主業農家」の割合が約74%に達しています。このように北海道で主業農家の割合が極めて高い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 1戸あたりの経営規模が大きく、大型機械を用いた効率的な生産によって、農業のみで十分な所得を得ることが可能だから
 2. 都府県に比べて冬の農閑期が長いので、冬の間だけ工業地帯へ出稼ぎに行く農家が全農家の約8割を占めているから
 3. 広大な土地を利用して、小規模な水田では不可能な低コストの米作りを行い、全国の米需要のほとんどを賅っているから
 4. 消費地である大都市から遠く離れているため、輸送費を節約するために加工品を専門に作る農家が急増したから
- 問9 北海道の太平洋沿岸部では、夏季に日照時間が短くなる傾向があります。この要因となる「海霧」が発生するメカニズムについて、正しく述べたものはどれですか。 (2019年 静岡公立入試 類似)
1. 南東から吹く暖かく湿った空気が、寒流である親潮（千島海流）の影響を受けた冷たい海面によって冷却されることで発生する。
 2. 北東から吹く冷たく湿った風が、高い山脈を越える際に水分を失い、反対側の斜面で高温乾燥した風となって発生する。
 3. 暖流である日本海流（黒潮）によって温められた空気が、上空の冷たい気団と衝突し、激しい上昇気流が生じることで発生する。
 4. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山地を越える際に雪を降らせた後の乾燥した空気が滞留することで発生する。
- 問10 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いので、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。
 2. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 3. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
 4. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
- 問11 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 西側に石狩平野、東側に十勝平野
 2. 西側に十勝平野、東側に石狩平野
 3. 西側に根釧台地、東側に十勝平野
 4. 西側に石狩平野、東側に根釧台地
- 問12 北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。 (2017年 愛知公立入試 類似)
1. 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。
 2. 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。
 3. 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。
 4. 流氷が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。	かつての北海道を支えた炭鉱などのエネルギー産業が衰退したことで、それらの地域から人口が流出し、代わって第3次産業（サービス業や小売業）が成長した札幌市に人口が吸収されました。このように、特定の都市に人口や経済機能が突出して集まる現象は、地方における一極集中の典型的な事例として挙げられます。札幌市の人口規模は1950年代の数倍に達しており、北海道の総人口の約3割から4割近くを占めるに至っています。
問2	答え 1 北海道	広大な石狩平野などを中心に、かつての開拓によって整備された一区画あたりの面積が広い農地が広がっています。このため、大型機械を活用した効率的な大規模農業が展開されており、一人あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。また、かつては寒冷地での栽培は困難とされていましたが、品種改良の進展により、現在では地方別で見た米の生産量でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問3	答え 1 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。	2012年から2016年の統計を確認すると、北海道を訪れる外国人宿泊者数は通年で大きく伸びています。特に冬季（12月～3月）の伸びが著しく、2012年の約117.2万人から2016年には約300.9万人へと急増しました。この結果、冬季の宿泊者数が夏季（6月～9月）の宿泊者数を上回るという、北海道観光の新しい特徴が示されています。
問4	答え 1 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問5	答え 1 北海道	我が国で最も広い面積を持つこの地域では、その広大な平野を活用して、1戸あたりの経営規模が大きい大規模な農業が行われています。特に水稻の作付面積は全国的にも非常に大きく、石狩平野などを中心に生産が盛んです。
問6	答え 1 大型機械を活用した大規模な経営	北海道は明治時代以降の開拓の歴史もあり、他都府県に比べて一戸あたりの耕地面積が格段に広く確保されています。この広大な農地を少人数で効率よく管理するために、大型のトラクターやコンバインなどを導入した機械化が進み、大規模な農業経営が行われるようになりました。これは、土地が狭く労働力を多く投入する「集約的」な農業とは対照的な特徴です。
問7	答え 1 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。	網走や紋別などのオホーツク海沿岸の都市では、分厚い氷を砕きながら進むことができる「砕氷船」が運航されており、冬の北海道を代表する観光地となっています。流氷は寒冷な親潮（千島海流）の影響を受けて南下してくるものであり、暖流とは無関係です。また、流水の上を歩いて国境を越えるような観光は行われていません。
問8	答え 1 1戸あたりの経営規模が大きく、大型機械を用いた効率的な生産によって、農業のみで十分な所得を得ることが可能だから	北海道では広大な経営耕地面積を活かし、大型のトラクターなどを導入した大規模経営が確立されています。労働生産性が高く、1世帯あたりの農業所得を十分に確保できる環境があるため、他の仕事を持つ必要性が低く、結果として主業農家の割合が高まります。一方で都府県は経営面積が狭いため、農業所得だけで生計を立てることが難しく、多くの農家が兼業化（副業的農家など）しています。
問9	答え 1 南東から吹く暖かく湿った空気が、寒流である親潮（千島海流）の影響を受けた冷たい海面によって冷却されることで発生する。	夏季の北海道太平洋沿岸では、南東から吹き込む暖かく湿った空気が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされた冷たい海面と接触します。これにより、空気中の水蒸気が急激に冷却されて凝結し、大規模な霧が発生します。この海霧が日光を遮るため、根室市などの太平洋沿岸部では、札幌市などの内陸や日本海側の都市と比較して夏季の日照時間が著しく短くなるという特徴があります。
問10	答え 1 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。	東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。
問11	答え 1 西側に石狩平野、東側に十勝平野	北海道の中央部にある大雪山系などの山地を境にして、西側（日本海側）には石狩川の下流に広がる石狩平野があり、東側（太平洋側）には大規模な畑作が行われている十勝平野が位置しています。
問12	答え 1 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。	知床は、流氷が運ぶ栄養分による海洋生態系と、それを糧にするヒグマやシマフクロウなどの陸上生態系が密接に関わっている点が評価され、世界自然遺産となりました。選択肢にある「季節風が温められて」という記述は、親潮が寒流であることを考えると誤りです。また、小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されますが、知床とは気候帯も登録理由も異なります。